

10/25(日)10:00~12:45 清和台小 参加者139名 発言者 のべ22名  
...ご質問、ご意見 ...川西市教育委員会の説明

<未就学・在籍 保護者>

小中連携教育は清和台小でも清和台南小でもとれている状況だと思います。今、新学習システムで、小学生高学年は中学生に向けた授業を受けています。小中連携だけでなく、清和台小学校は清和台幼稚園との連携をとっており、夏休みに清和台小学校で幼稚園児のプールの授業を行っています。そこで、清和台小学校がなくなると、清和台幼稚園の子がプールに入れなくなることが心配です。また、給食体験で清和台小学校に園児が来たり、去年は授業も体験したりしていました。

幼稚園から小学校にあがるときに、初めて親から離れて通学などをすることになるので、小学校と幼稚園の連携が取れなくなることが心配ですが、どう考えているのでしょうか。

公立幼稚園と小学校が連携しているのは認識しています。統合が計画通りいけばプールの使い方については、幼稚園にプールを設置する等も検討していく必要があると考えております。

幼小連携について、就学前教育についてはこども未来部で大きな計画を立てています。公立の幼稚園・保育所、そしてこども園、その中で就学前教育を考えていかなければならないと思っています。同時に、就学前教育を進める中で公立のみならず民間の幼稚園や保育所、私立のこども園も踏まえたうえで川西の就学前教育をどうしていくか、小学校との連携をどうしていくのか考えていかなければならないと思っています。今、幼小中連携の中ではっきりしている、小中連携を優先して進めていくべきだと考えています。

<未就学 保護者>

入学する際にすでに統合されている場合は問題ないと思います。入学した後に統合される子は、転校する側、転校してくる側があると思うが、在校生に対するケアは何かあるのでしょうか。

子ども達が転校することによって不安や心配が起こらないよう、31年度に向けて清小・清南小の子どもたちが交流できるような場を設けられるよう進めていきたいと思っています。それ以外にも、状況に応じて、県から配置される教職員のほかに、市で何か方法がないのか研究していきます。心のケアについて何らかの人的な支援を考えていきたいと思っています。

<在籍 保護者>

まず第一に子どもの安全をどう考えているのでしょうか。バスに乗るなら勝手に乗れということだったが、それで子どもの安全が守れるのか。昨今、子どもたちが被害にあう痛ましい事件が頻発しています。実際に子どもたちがバイパス通りを歩くのはおそらく無理だろう。坂道も多い。石道

から南小に行くまでに1時間ほどかかる。ハンデのあるお子さんもいる中、小学校1年生が、無事に通えるのか疑問です。集団登校に保護者がついて行っているのが現状、15分の距離ならできても、1時間の距離を保護者がついて行けるのか疑問です。

昨日PTAから広報が配られたが、登校時の見回りはできているが下校時の見回りはできていない、最近では5時になると暗いので見回りをお願いしますと書いてありました。この辺の問題をどう考えているのか。何の具体策もなく、ただ遠くなるという事では、保護者としては不安です。

また、学校が遠くなると、今、PTAとして行事に参加しているが、その分、足も遠のきます。積極的な活動が出来るのかも疑問です。

この地区から小学校がなくなるのは地区にとって由々しき問題です。小学校に近いという理由で選んでここへ来る人もいるので、小学校まで2キロ3キロとなると、今後若い世代は絶対ここに住まない。今も空き家が多いのにさらに過疎化が進む。市にとっては小学校の統合かもしれないが、我々にとっては廃校なんです。今後この地区に活性化があるのか。おそらく無理だと思います。

市で勝手に廃校するのでなく、民意を問うてほしいと思います。

例えば、大きな災害が起きた時に我々はどこに逃げたらいいのですか。

地域から小学校がなくなることについて、重く受け止めています。他地区とともにずいぶん前から審議してきた課題で、今回厳しい決断をした理由は、学年の単学級化は基本的に避けるべきではないかと考えています。もちろん単学級がすぐダメと決めつけているわけではないですが、リスクを背負って6年間単学級を続けるのは子どもの環境として厳しいです。教職員の数にしても地域として機能できる教育環境にないのではないかとこのことを一番の理由としています。まちづくりの視点で考えていかなければならないというのは清和台地区のみならず大きな課題であり、教育委員会として市と協議して進めていく必要があると思っています。今回このような形でお話しておりますが、長いスパンで考えるともっと厳しい状況になるのではないかと懸念しています。すぐに理解いただくのは難しいと思いますが、そういう視点で考えていることを理解していただきたいです。

具体的に子どもの安全を確保してほしいという事が一番言いたいことです。新名神もできるので、交通量も増えると思う。何か具体策があれば納得できるのですが、実際のところ集団登校にも親がついて行っている現状なので、なにか対策をしなければならないのではないですか。どう考えているかを具体的にお聞きしたい。

通学路の安全について所管しているのは学務課です。今の時点でどこのお子さんがどの経路でどのように行くかは複数あり、簡単にここにガードマンを立てるなどと具体的に断言できないところがあります。かといって何もしていないわけではありません。すでに川西警察と連絡を取っており、最もいい方法を具体的にするための状況を詰めていきたいと考えています。また、まだ若干時間があると考えており、その段階で意見を言っていただくという事ではダメでしょうか。清和台のお子さんが南に行くときにどこで連携すればよいかなどは個別でやっていきたいと思っています。ほかに具体案やどうしてほしいという

事があればお伝えいただきたいです。

<在籍 保護者>

毎日集団登校について小学校近くまで行っています。清和台小学校まででも遠い。高学年の児童に付いていくので必死な状態です。統合は聞いていたが、4年後という近い将来ということに驚きました。近くにまだ小学校に入学していないお子さんも数名います。小1の子が、月～金まで南小までの距離を歩くことについてどう考えているのか疑問に思います。

基本的な考え方として、1つの学校にするので校区が広がって、通学距離が長くなるのは認識しています。それによって負担をかけることも承知しています。通学路について安全で出来るだけ近い距離でと考えています。南小学校の校門は2つあるので、整合性であるとか、バスも通っているのでバスの利用も検討しています。またPTAの方であるとかご協力いただける方々が実際おられますので、今後、相談して進めていきたいと思っております。

<在籍・未就学 保護者>

通学の安全・跡地利用・幼稚園との連携（プール）について、こうしようと思っているという説明ばかりで具体的なことがない。どういうスケジュールでいつ何を決めて、皆さんに報告もしくは相談しますということを示してほしいです。そうでないと実際4年後にできるのかも分からないです。プロセスを書面で示してほしいです。

今回第1回目の説明会で、このあと検討しないといけないことについて詰めさせていただいて、できるだけ早い時期に開催できるよう考えています。一定の時間をいただきたいと思えます。

<在籍 保護者>

今回この説明を聞くのは3回目ですが、具体案が出ていません。PTAと一緒にしていきたいと言っていたが、PTAとしても教育委員会あっての子ども教育であり、対立する立場ではないと承知しています。保護者に寄り添った考えの提示がないと納得できません。

特別措置について、27年度から始めようとしているのでしょうか。だとすると、31年度になる前に単クラスになる可能性があると思いますが、その場合の方向性を打ち出しての案なのか。学校側も認めたのでしょうか。この話は26年度から始まっていたと思うが、今まで一度も打診してもらったことがないし、パブリックコメントを拾ってもらってもいない。前年度・前々年度の人にも聞いたが説明はなかったと言っていました。保護者の意見はどこで拾っているのか。

どの部分で優位だから南小に決まったのか。会議録・答申をすべて読んだが、南小は運動用地の

南側に大きな池がある。自然関係と触れ合うところに寄与した環境から考えて、南小と考えているとありますが、これは子どもの教育に関係ないですね。清和台小と南小の優位さについて議論された場面が一度もなかったです。もしかしたら議論されていたかもしれないけれど、私たちはホームページの会議録の中でしか読み取ることができないので、傍聴が出来たなら傍聴してくださいと案内するべきだったと思います。

今回、基本的に教育委員会としての計画というか案を示させていただきました。この場はそういう意見を聞かせていただく第1回の説明会と考えています。校区審議会で答申をいただいた後、教育委員会の案として示させていただきました。次回までに検討すべきことは持ち帰って検討します。

また、事前にPTAの役員の方には説明していましたが、多くの人にとってはこれが初めての機会なので、これをもって決定ということにするつもりはありません。何回か説明会もしくは検討した内容をお伝えする機会を設けます。

校区外の特例案について、今行っている子をどうしてくれるのかと意見がありました。統合がされるまでの間、我慢して従来の学校に行ってくださいと言うのかという問い合わせがあり、どちらの意見も無視するわけにいかないということで、前もって統合後の学校に行きたいということであれば考えなければならないだろうということで、校区外5%枠を外す案を持っていると話しました。学校にはまだ説明していません。実際この5%枠を外して単学級が出来たら、教育委員会としてサポートできる要員を増やすなど、何らかの形で対策をとることを考えています。こういった意見を聞き、それをもとに原案を作るので、しばらくいろんな意見をいただければと思っています。

また、通学路の安全に対する具体策がまだ無いというご指摘ですが、考えていることはありますがまだ発表できる段階ではないと考えています。具体的に何か案があればお聞かせいただければと思います。参考にさせていただきたいです。

緑台小学校での説明会の中で、バスを出してほしいという要望に対して、バスは出さないと明言されたと聞きました。バスを利用するなら各家庭で費用を出して公共のものを使ってくださいと言われたと。なので徒歩ありきの話だと思いますが、子どもの命がかかわってくるので、具体案を出してもらわないと容易には納得できません。この部分については審議会の委員の方からも再三言われていたと思います。また、実際に通学路を歩いてみたということですが、その時は何人で、どのくらいの荷物を抱えて、晴れの日なのか雨の日なのか、教えていただきたいと思います。

児童のストレスというところで、対象年齢は小5と中2でした。小学1～3年がどれだけストレスになるかは検証されていませんが、心配なのはその年代の子たちです。

緑台小学校での説明会でバスを出してほしいという意見があったのは確かですが、バスを出さないと明言はしていません。走らせるのであれば予算の関係やいつまで走らせるのかなど、市長部局と相談し詰めていかなければなりません。

基本的な考え方として、校区が広がりさらに高低差もあることは認識しています。教育委員会として心苦しいところはありますが、他の校区で同じような状況で通われているお子さんもいます。今回、統合によってそうなるということで一定の配慮をしようと、市長部局と協議をしようと思っておりますが、基本的にはバスを走らせると即答できる状況ではないです。

#### <地域の方>

統廃合の話は、陽明・緑台のことはちらちら聞いていたが、清和台については聞いていませんでしたので、降って湧いたような話で31年から統合なのは納得できません。一つの小学校がなくなるということは大きなことです。地域の子を見守りながら育てるということは学校・保護者・地域の人と一緒にやっていくことなのに、南小学校一つになっていくと地域で守り育てていくことが薄れていくし、若い人たちがここに住み続けることが出来なくなってしまう。地域の発展のために、何よりも子どもにとって最善のことを考えると、本当に統合が良いのか、もう一度最初から考え直してほしいです。自分は小学校1学年1学級で育ってきましたが、不自由は感じずに育ってきたと思っています。

#### <在籍 保護者>

今後人が減りそうだから統廃合するという事ですが、市としてこの地に人を増やしたいと考えたことはないのですか。高速のインターができて、環境が変わる可能性がありますと言っていたが、このインターが出来るという事は北部にとって非常にチャンスだと思います。学校をなくしてしまうと、チャンスをみすみす逃すのではないのでしょうか。市としてこの地区を発展させるという観点で、これまで、そして今後の取組について聞かせていただきたいです。

街づくりの視点からのことで、教育だけでなく市長部局全体で様々な施策をしている状況です。地域づくりという事で、施設の充実などは図ってきたところかと思えます。ただ、市全体として何十年先を見据えていく中で、少子化傾向は傾向としては続くかなと。そのためには対応がもう一步必要になるかと思えますが、地域の中で子どもの声が聞こえなくなることは大きなことだと思います。今回のことは苦渋の選択で、単学級になるという事が主な理由です。この地域に限らず、今後さらにコミュニティをまたいで小学校の統合を考えなければならない時代が来ると考えています。もちろん街づくりの視点について意見があったことは市長部局にお伝えします。

高速道路が出来ることが大きいという事も認識しています。今のところの状況では、活性化に繋がればいいが、爆発的に人が増えるのは難しいのではないかと見込んでおります。

ただ、あくまでも推計値なので、非常にたくさんの方が流入してきて子どもが増えたら計画を見直す余地も残しておかなければならないと考えています。

人が増えてきたら...と受け身ではなくて、市として街づくりを積極的に進めてほしいです。

<在籍 保護者>

1年生の子に、ランドセルに通常の荷物を入れた状態のものを背負わせ、石道からCのコースで歩かせてみました。足が強く歩ける方の子であります。1時間はかかりました。小学1年生とかだと、保護者がついていないと登校班において行かれる不安があります。にも関わらずバスも自費となると聞き、ショックです。A+Bコースで45分くらいかかります。なぜ南小を選んでいるのか。もともと清小から分校した学校なのに、なぜ戻ってきていただけないのですか。

<在籍・未就学 保護者>

今回の統合に関して一番問題視されているのは単学級になることと言っていましたが、外国の学校では、1つの学校で100人ほどの規模で、1学年1学級は一般的。この流れはどうお考えでしょうか。学校規模が小さいほど学校に対する愛着心が強くなるし、教育的にも非常に効果があるという研究も一部ではあると思いますが、その点についてはどう考えていますか。

また、通学路について、1時間というのは法令上の数字だと思いますが、建設学会ですかね、低学年では2キロ以内、30分以内が適正基準であるというデータも出ていると思いますが、どう考えているのでしょうか。

<未就学 保護者>

何も知らなかったのも悪いと思いますが、小学校が近いから引越しを決めたら、まさかの統合で遠い方に行かないといけなくなってしまった。どうやって南小に設定したのか、具体的に例えばアンケートを取ってデータ上で出たのでしょうか。

また、今後私たちの意見はどこまで反映してもらえるのか。統合は統合で決定で、南小で決定なのですか？

1点目、なぜ南小学校なのかということについて、清和台南小学校が後から建設されたという事もあります。建築年、階層、延べ床面積、運動場面積など今後のことを考えた時に清和台南小の方が活動しやすいという点があります。今後、中学校区については、けやき坂小学校・けやき坂中学校をどうしていくのかを踏まえたうえで判断をしました。

2点目、外国の例を出していただきましたが、外国もいろいろありますが、日本の学校教育は学級を重く見ている傾向があります。学習だけでなく生活とか様々な点において学級というものを重視しています。また学級におけるつながりも重視している状況にあります。諸外国においては、学習に特化して生徒指導は別でと、日本の教育とは少し違うと考えています。

建築学会の話については、確認しておりませんので、この後確認しておきます。

アンケートを取ったのかということについて、基本的に教育委員会事務局としての案を示しており、ご意見は市長部局にも報告します。そのほか個々の意見については担当の学務課にご意見してください。個々のアンケートは今のところ考えていません。

<在籍 保護者>

今は“案”で意見を聞いていくということは、あくまでも教育委員会の案で、いろんな意見があったと思うがそれを踏まえて、見直しも含めてもう一回検討するということでもいいのですか。「はい」か「いいえ」で答えてください。

「はい」か「いいえ」の単純な答えは難しいです。見直しの余地は、1つとして高速道路ができて大幅に状況が変われば見直しは必要と思います。いったんご意見をいただいているので、必要な協議をして、その時点でと考えています。何を以て決定というかは難しいですが、教育委員会の案は示していると。今、意見をいただいているので、持ち帰って再度ご提示させていただきます。決定というのはもう決まりかという意味かと思いますが、いただいた意見に回答しないまま進めるといはいけないと思っています。ただ、スケジュールを考えて進めていかなければならないので、必要な手続きを取ってまた回答させていただきます。

スケジュールがあるということは、統合はありきということではないのですか。

計画を提示する時にある程度のスケジュールを示すのが妥当かと考えています。

我々は統合される方になる。遠くなる人がたくさんいます。単学級が生じるのが早いのは南小。南小の優位性について具体的に説明がない。なぜ統合に至ったか、南小に至ったのか、きっちり説明してほしいと思います。まちづくりの中で、我々の生の声を聞いて、もう一度検討する余地があると思います。

<在籍 姉>

南小の方が建物が優位だと言いますが、ではなぜ今耐震工事をしているのでしょうか。

<在籍 保護者>

9月に話を聞いたときの話ですが、南小に決定した経緯を話してほしいと言った時に、新しいから、運動場が広いから、と言われ、では清小は何がダメなのか聞いたら、給食室作るのにお金がかかると言われました。

中学校が近いという理由もあったが、小学校と中学校が近いからと言って保護者にとって利点は

ないです。利点があるとすれば、年に一回ある出前授業くらいだと思います。南小でなければならなかった理由をもう少し丁寧に伝えてほしいです。

<在籍 保護者>

跡地はどういう利用を考えているのですか。

<在籍 保護者>

昭和45年清和台学校に児童が登校することになり、南小が昭和52年から。南小を選んだ理由のひとつに新しいからおっしゃっていました。浅はかな知識ではありますが、51年に建築基準法は改正されています。ということは清和台小も清和台南小も同じ法律がベースで建てられていて、それでいてこちらは最新の耐震工事をしている。このことを考えて、南小を選んでいるのでしょうか。今、小学校近辺の人たちは子どもたちのことを考えて工事の騒音に耐えているが、33年度から結局向こうに行くと、何のために騒音我慢していたのかと思う。こちらが確実に納得できる答えを提示してほしいです。

耐震工事については、清和台小に限らず市として取り組んでいます。一定数の人数が集まるところを優先的にということで小学校・中学校10年かけて取り組んでおり、今年27年度で耐震工事は終わるという形で進んでいます。もちろんその時点で統合についての意見もありましたが、基本的には今生活している子ども達のことから優先的に耐震工事の必要なところから順次やっていって、27年度に完成する計画です。今回の耐震工事はその中の一番最後のところです。施設が新しくなることについて、跡地利用の観点からも十分施設として活用できるという意味でも補強することに意味はある。耐震工事が無駄になるとは考えていません。

跡地利用については基本的には教育施設を検討中ですが、まちづくりの視点から、地域の方のご意見を聞いて、市全体として本当に教育施設でよいのか、更に検討していきたいと考えています。

<在籍 保護者>

加茂小の跡地について、20年間そのまま置いてあると報告がありますが、それについてはどうお考えでしょうか。

加茂小の跡地は20年そのまま、教育委員会としましても計画的に進めていかなければならないと思います。この先この施設が10年も20年も老朽化したまま残るとということは絶対に避けなければならないと強く思っていますので関係部署にも要望します。

また、耐震工事の関係ですが、平成19年度に施設の老朽化の調査をし、建物の弱さ・



倒れやすさをはかりました。IS値0.3の基準を下回った小学校については20～24年度に工事をする計画を立て、0.3～0.7の区分に入るものは23～27年度に順次計画を立てました。清和台小学校では、21年度に耐震工事をしています。この計画を立てる前に統合の話はなかったんですが、耐震化については、統合して学校がなくなるからなくていいのかと。その間に地震が起きた場合、そこに通うお子さんをほっといていいのかという質問に我々は答えられません。

清和台南小については23年度からスタートして25年度に終了しています。耐震化が終われば耐震度はイーブンになるはずですが。今この工事をしなければ、危ない状態で何年間かお子さんが通うことになるので、それは絶対避けたいと考えました。

どういう要素で清和台南小かということは、順次開示していきます。今わかっている具体的数値が一部なので改めて公表します。

#### <在籍 保護者>

今日出た話の議事録を作って、2回目の説明会で

- 1点目、通学路の安全について。歩道を広げる、停止線を増やすなどの具体的な内容。
- 2点目、バス通学について、費用を負担どうするのか検討してもらう。
- 3点目、幼稚園との連携をしているとのことだが、プールの設立の話。
- 4点目、校区外申請について学校との協議。
- 5点目、統合先がなぜ南小なのか。
- 6点目、跡地の利用について。教育施設にするのか。

など、この宿題を、皆さんにわかるように資料として回答がほしいと思います。

#### <在籍 保護者>

跡地について、この小学校は今、東地区の避難所になっているかと思いますが、もしこの小学校が公共の施設でなくなった場合、東地区の大規模な避難所がなくなる事になると思うので、その辺りも考えてほしいです。

統合や統合先のことを決めるとき、話が上がる前にこの地域の方の意見を聞いてほしかった。本日の意見を拾い上げて今後のことを考えてほしいと思います。

#### <在籍・未就学 保護者>

立地的になぜ南小になったのか疑問。清和台地区の中央にあるのは清和台小ではないですか。

#### <在籍 保護者>

審議会で答申が出たらひっくり返ることはないし、電話で尋ねてもひっくり返らないと言われたと聞きました。ひっくり返ることはあるのですか。そこがはっきりしないと、議論

の内容が変わってくると思うんです。また、審議会メンバーの中に、清和台のメンバーが一人もいなかったのはなぜですか。途中で清和台の話題が盛り込まれたときに、委員20名まで招集できるとあるのだから、あと8名清和台の人を選べば良かったではないでしょうか。別のコミュニティの会長は出席しているのに清和台のコミュニティの会長を呼ばないのは平等性に欠けていませんか。

統合の話が出る前から、ご指摘の会長には審議会の委員になっていただいていたいました。校区審議会は、市全体の校区の在り方を議論してもらう場で、任期の途中で児童数に関する統計が出て、対応に迫られたということです。

では、規則で許されているのだから、清和台の代表の方を呼ぶ機会があったのではないかとされますと、その通りですが、審議会の答申については第三者的な立場で回答いただいたと認識しており、審議会そのものがまずかったのではなく、審議会の運営の中で参考人などを呼ばなかった対応の悪さはご指摘の通りだと認識しています。

#### <在籍 保護者>

入学説明会の時に校長先生から統合について話を聞きました。その後小学校から今日の説明会がある事を聞きました。その2回以外は統合について噂レベルでしか聞いていなかった。本日説明会であまりにも具体的な案が出されていることに不安を感じました。浸透していない案を具体的に進めていかれることに不満です。今日来られなかった保護者や地域の方も色々不安があると思うのでその方たちの意見も吸い上げてほしい。そこからまた審議してほしいと思います。

---

終了